関大
発行所
関西大学校友会
大阪市大淀区長柄中通二丁目
編集発行人　長柄金吾
電話堀川㊀代2 072番
振替口座大阪55594番

定期検眼
メガネ
大学堂
心斎橋筋
(27) 8086
第一生命ビル専門大店
阪神百貨店5階

私学のありかたについて

これからの大学教育はどう進むべきか、母校関大には一つの学風があるのであろうか？全国に数ある大学の中で七十五年の歴史をもつ関西大学が最近いたずらに「教育基準」のみに頼ったな教育で一〇ひとからげの卒業生をだしているのではないか等々…。さらなる大学の発展のため関大は関大としての特性を生かし誇り高い〝学風〟を作りたいと広報部ではこのほど学長、各学部長、専務理事の出席を得て遠慮のない放談を行った。

学風は作られつつある
〝通したい〟一貫した教育〝

広報部　最初にお伺いしたいのですが、関大には果して学風といえるものがあるでしょうか？そんな点から一ツ…。

山崎　それはよその人が一番よく知っているんでしょうがね。しかし私のように途中から飛びこんで来たものは感じますね。

広報部　私たちの考えからいうと関大は七十五年の歴史中、本当に関大らしい姿をもったのは最近の四十五年位でその間に関大の自主性が生まれてきたと思います。前の三十年間は植民地ですよ。

広報部　現在の関大生気質というたものを一つ。昔のことや他大学のことをあわせてお話していただきたいと思います。

山崎　穏健でオットリした気質ですね。

広報部　昔の学生は学校という認識よりも学校に行って有名教授の講義を聞き、自分のものにするんだという色彩が非常に強かった。法律中心でやっていた上、朝野法曹界に優れた人がでてきたのに時代がかわり法、経、商、文、工と手を伸ばしたから関大の中心や特徴、学風が漠然となった。現在もそうだがしかし何か新たなものが醸成されつつあることは感じますね。現在の学生は大学に依存し過ぎていると思いますが…。

和田　これは全国的な傾向だと思います。昔は学問それ自体が専門化していたのです。

矢口　ところが今は幅が広くなったんですよ。だから法律はじめ経、文、商なんでもその専門が強く浮きでないんです。

山崎　全てがそんな風になりつつあるんですが、その中から学風というものが自然にでてくると思います。これには相当の年数をかけなければならないと思います。新制大学になり丁年、もう徐々に学風というものがでてくるんじゃないでしょうか。

和田　入学の成績もだんだんよくなりつつあり、関大の次のカラーを作るのは中、高など思うのですが…。

矢口　中学、高校の試験を厳重にして頭のいい生徒を養成する。付属の性格がチェックされ、イージーに進学できめこまを自覚するためファイトと自信を植えつけることになる。これが大学に進んだときの大学の学風に及ぼす影響は大きいですよ。

和田　私学のあり方として高校というのも非常に重要なものがあります。

入試について

広報部　組織改善計画を検討するなかの一つの機関をもって十分に研究すべきです。たしかにそうしてゆく必要があると思います。次に、入学試験などの問題に移りたいと思います。私学としてある程度の幅をもたしてやりたいとの声もあるのですが。

矢口　まだこれは就職にも関係する問題で六三三四が教育の基準だが谷に有名校といわれる東大などでは一てません。勉学の計画性をもたすことが重要なんですが、方針が一年次にはなかなか決まらない。

広報部　そんな点で関大生気質だとか、学風とかいったものに特徴がないわけですね。

矢口　しかしそれは戦後の学科画一化にもよるでしょう。一つの型に皆を入れる。数も多い。だから個性なものがないわけで関大だけでなく全国的な傾向ですよ。

山崎　どの先生も関大は気持がいいといいます。学生達は気が弱い。他の大学では学生がしっかりしているため油断できない。今、何が欠けているかというと〝自信〟ですね。

矢口　覇気がないのも確かですね。

広報部　学長や部長の話もまとまりがないでオットリした気質ですね。

和田　関大は福沢さん新島さんの精神という伝統的なものがあってそれが学風と結びついているのではないでしょうか

昭和34年度予算成立す

徐々に独立予算めざす
規模は昨年とほぼ同じ
総額812万余

昭和三十四年度校友会予算案などを検討する常議員会がさる三月二十八日午後十二時半から天六学舎で開催され若干の質疑応答があって原案通り満場一致で可決された。こんど成立をみた新年度予算は昭和三十三年度予算より三十九万円増の八百十二万八千四百円で大学補助、寄付依存から会費収入を根幹とする独立予算となってきたことが注目される。

まず最初に大月会長が開会を宣して挨拶したあと、栗川総務部長が議題について説明した。つづいて西村財務部長が第一議題「予算案」について次の如く説明した。

昭和三十四年度校友会予算案は総体的にみると財政規模としては前年度（昭和三十三年度）とほぼ同じです。しかし前年度までは大学補助金や校友会費寄付にも依存していた点を改め、会員の増加による会費収入増によって運営してゆきたいとの趣旨で予算を作成しました。

財務部長から趣旨の説明があって質疑応答に移ったが独立予算案などから若干の質問があり、希事望項がだされたあと採決に移り、全員の賛成を得てここに昭和三十四年度校友会本会計並に特別会計収支予算は成立した。

また独立予算の実施にあたり月会長ならびに財務部長は常議員各氏に会員増加に格別の協力を要請した。

ここで続く第二の議題に入った。これは東京支部申山幸市氏から申請されていた推薦校友に上林山栄吉氏を推薦する件で、審議の結果、満場一致で承認され、大学理事会へ大月会長から申請されることとになった。

これで予定された議題を終了し常議員会は午後二時閉会した。

× × ×

三月二十八日の常議員会で可決成立をみた三十四年度予算は財務部をはじめ部長会で再三検討のすえ

常議員会に上提されたもので総額八一二万八千四百円にのぼる。これを各項目ごとにみると次の通りとなる。（かっこ内は三十三年度予算との増減）

本会計では四五七万円（七万円増となっており、これは会員数の増加等が、見込まれているためである。支出面をみると人件費が一、六九六、一八〇円（七七、九三〇円増）を占めているほか、物件費七五八、三一〇円、会議費一、〇〇万円、予備金二〇九、四一〇円となっている。また新予算から各支部への交付金が組まれた。これは二三五、〇〇〇円で各支部から一括納入された会費の割戻金である。また新聞特別会計への本会計からの補助は二二、二〇〇円増の三五七、八〇〇円が計上されている。事業費として本会計に計上された一〇〇万円の内訳は組織部五〇万円、事業部五〇万円である。特別会計として計上されているうちの新聞会計は新聞発行部数の漸増のため、一、六七七、八〇〇円となった。

関大会館建設のための積立を続けている終身会費は二千四年度は一五〇万円が予定されている。これは本部集金係員によって集金されるほか各地支部にも強力に働きかけて一括納入を推し進めるよう協力を依頼する予定である。

また今年度、校友総会は通知費をはじめ、あわせて三九万円が必要なものと予想されている。

× ×

推薦校友に推薦された林山栄吉氏（※）は鹿児島県出身ですでに衆議院議員にも数回当選し現在は自民党衆議院国会対策副委員長として活躍中である。

関西大学での学歴は大正二年専門部法律科に入学し同十五年六月に中退している。

この件は大月会長から大学理事会に申請され、理事会で審議のすえ承認された。

新卒者の入会好調
未入会者はお早く

今春卒業生の校友会入会を勧奨するため組織部などが中心に活躍していたが、卒業式を中心に続々入会者が増加する好調を示している。これについては組織部が学友会と懇談を続けてその協力を得たり、また広報部とともに入会勧奨記念号を発行してPRしたりしたため、新卒生の間に校友会の認識が高まったので喜ばしいことである。

なお入会申込者はその後もひきついているが、未入会者も早く入会するよう校友会では呼びかけている。

本年度第二次募集

本年度第二次募集は既報のとおり文学部（二・三部）商学部（二部）及び工学部（昼）の三学部において、去る二月一九日一せいに行われ、受験者数は一、〇三四名であった。また二高、次試験は一三名が応募、一次のあわせて受験理数は二、一五四名であった。

河野経教授帰国　三十三年度本

学在外学術研究員として渡欧していた商学部河野経教授が二月二十日午後四時二十分着「つばめ」で九カ月ぶりに帰国した。

同教授は昨年六月十七日、ヨーロッパ各国の社会保障制度および最低賃金制度の現状を調査するため大阪を出発、羽田から空路インド、イギリス、ドイツ、フランス、アメリカなどの諸国を歴訪したもの。

大阪駅には学長、各学部長の大学関係者のほか、学生多数が出迎えた。

好本清勝氏渡米

昭和二十年本学専門部二部経営科出身の校友好本清勝氏（好本産業KK社長＝和泉市黒鳥町二四）は卒業後別珍機業に従事しているがこのほど業界視察のため渡米した。同氏はシャトル、サンフランシスコ、ニューヨーク、フィラデルフィアなどを回ったすえベルギー、カナダ、英、仏、伊を経て六月帰国の予定。

逢阪勝見氏

税理士国家試験委員に

校友会財務部部長・公認会計士逢阪勝見氏は税理士国家試験委員に委嘱され、四月一日付で大蔵省から発令された。

【略歴】昭和十一年商学部卒、同二十五年公認会計士試験に合格して公認会計士開業のかたわら昭和二十六年から同三十二年まで母校関西大学短大で租税法規を担当された。

寄付

昭八会の沢井真吾氏はこのほど事務局にあて、校友会新聞発行の一助にと金一封を寄付された。

会費をお払込み下さい

新年度に入り校友会も別項記事のとおり〝独立〟めざして画期的な予算編成を行いました。

そしてこの会を益々隆昌せしめてゆくには、いうまでもなく会員の皆様はじめ校友各位の熱心な協力がなくてはなりません

健全な財政の確立からくる校友会の発展はどりもなおさず母校の発展を約束します。

おもいでの支部から

泉大津支部生まれる
支部長に中村忠夫氏

大阪府の下支部結成運動はその後も続けられているが、このほど泉大津支部がめでたく誕生した。泉大津支部の設立総会は三月十五日午後一時から泉大津市役所で開催された。

この日は校友会本部から門上組織部長、宮崎組織部員、大学からは中山校友課長が出席した。

まず、支部設立の経過について設立発起人から報告があり、泉大津市の校友、在学生事情が説明された。

この日は田中支部長はじめ支部役員が出席し、支部活動について種々打合せ、今後の方針について検討した。またこの日、同支部では大学から経済、政治研究所長・井上吉次郎教授を招き、経、政研究部長に中村忠夫氏が推せんされて決定、副支部長以下各役員も選出された。

中村支部長談　泉大津市に在住する校友に、在学生を加えると相当な数に達する。卒業期で会員が急増する時期に設立が間に合ってよかった。これからはその組織を確立し、会員相互の連絡を密にして校友会を発展せしめたい。会員の皆さんの協力をお願いしたい。

議事を終えたあと懇親会を開き、出席会員一同なごやかに話し合い親睦を深め、相互の協力を約して閉会した。

当日決定役員

支部長　中村忠夫

副支部長　山口一雄、吉田太喜雄

顧問　金築義久、杉竹清治郎、日下祐造、奥野吉之亟、山之口初義、大橋喜朗

幹事　青山利一（会計）長野文郷（会計）辻川孝三郎、場本養一、藤田保、灰原良浩、中兵幸雄

なお支部事務所は泉大津市松の浜七七六の五・中村忠夫方（電話三〇二番）におかれる。【泉大津支部発】

土谷署長歓迎

浪速支部懇親会

このほどの異動で西警察署長から浪速警察署長に転任された土谷正喜氏（昭14専二法）の歓迎を兼ねて支部の懇談会を四月二日午後六時から天王寺公園北口の広田家で開いた。折から選挙月のことで土谷氏は公務多忙である中を時間をさいて出席された。呼田吾一氏の司会で外山支部長は「過ぐる三月二十日の母校卒業式に招かれ参列したが、発ちうとした新学士二千五百名を社会に送り出すよう発展した母校は偉観であり、学園の輪環の美はどこの大学にも誇ることができる」と大学の発展をたたえ、卒業校友の喜びを述べ、このたび浪速区の治安を司る敏腕の土谷氏が赴任されたことについて歓迎の意を表した。ついで土谷氏から公私ともよろしくとの新任の挨拶があって通天閣観光社長・和田直太郎氏の音頭で乾杯した。なお当日は代議士・北村徳太郎氏が高速道路学内通過の現地視察のため来学され、同氏を囲んで反対本部の会合があったので校友会本部から会長ならびに副会長とも連合せがつかず神屋敷事務長から現況報告があった【神】

堺支部再建へ動く
初の世話人会で具体化

卒業後二十七年、みんな肥満型とやせ型に分類された。肥えている方は貫録ができてまことに結構だが、血圧に注意しなさい。やせている方は長命的だがリュウマチに気をつけなさい。もう一つ髪の毛のことだが…オットこれはいいますまい。でも気持だけはみんな若がえって〝オレ〟〝オマエ〟で過ごし学生時代にかえったよう。一同なごやかに懐旧談や母校の現在の躍進ぶりに花を咲かせ、一部幹事の改選があって、学歌斉唱ののち九時半ごろ散会した。

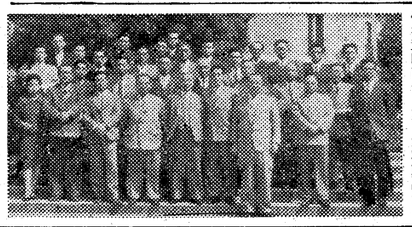
この日の出席者は辻内、猪飼、沢山、丸山、小泉、鎌田、岩佐、前田、吉本、称垣、加古、浦野、湯浅、越智、沢田、田中、藤原、谷内、図師、西田、谷口、西尾の各氏であった。【昭会・沢山発】

井上教授が講演

南支部合同役員会

南支部ではさる三月十七日午後六時半から、順慶町「万富」で合同役員会を開催した。

この日は田中支部長はじめ支部役員が出席し、支部活動について種々打合せ、今後の方針について検討した。またこの日、同支部では大学から経済、政治研究所長・井上吉次郎教授を招き、経、政研究



部長に中村忠夫氏が推せんされて決定、副支部長以下各役員も選出された。

中村支部長談　泉大津市に在住する校友に、在学生を加えると相当な数に達する。卒業期で会員が急増する時期に設立が間に合ってよかった。これからはその組織を確立し、会員相互の連絡を密にして校友会を発展せしめたい。会員の皆さんの協力をお願いしたい。

議事を終えたあと懇親会を開き、出席会員一同なごやかに話し合い親睦を深め、相互の協力を約して閉会した。

当日決定役員

支部長　中村忠夫

副支部長　山口一雄、吉田太喜雄

顧問　金築義久、杉竹清治郎、日下祐造、奥野吉之亟、山之口初義、大橋喜朗

幹事　青山利一（会計）長野文郷（会計）辻川孝三郎、場本養一、藤田保、灰原良浩、中兵幸雄

なお支部事務所は泉大津市松の浜七七六の五・中村忠夫方（電話三〇二番）におかれる。【泉大津支部発】

土谷署長歓迎

浪速支部懇親会

このほどの異動で西警察署長から浪速警察署長に転任された土谷正喜氏（昭14専二法）の歓迎を兼ねて支部の懇談会を四月二日午後六時から天王寺公園北口の広田家で開いた。折から選挙月のことで土谷氏は公務多忙である中を時間をさいて出席された。呼田吾一氏の司会で外山支部長は「過ぐる三月二十日の母校卒業式に招かれ参列したが、発ちうとした新学士二千五百名を社会に送り出すよう発展した母校は偉観であり、学園の輪環の美はどこの大学にも誇ることができる」と大学の発展をたたえ、卒業校友の喜びを述べ、このたび浪速区の治安を司る敏腕の土谷氏が赴任されたことについて歓迎の意を表した。ついで土谷氏から公私ともよろしくとの新任の挨拶があって通天閣観光社長・和田直太郎氏の音頭で乾杯した。なお当日は代議士・北村徳太郎氏が高速道路学内通過の現地視察のため来学され、同氏を囲んで反対本部の会合があったので校友会本部から会長ならびに副会長とも連合せがつかず神屋敷事務長から現況報告があった【神】

道路問題　反対意志強く表明
吹田支部初の役員会

吹田支部では四月五日午前十時から千里山学舎大学ホールで役員会を開催、多数の役員が出席した。最初に上野支部長からあいさつがあり、幹事決定の報告が行われた。

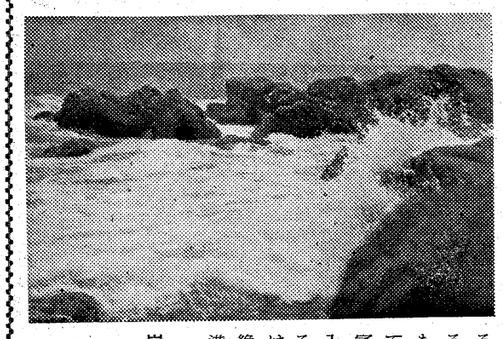
上野支部長は席上、関大の地元支部として活気ある支部にするとの必要を強調、支部運営のため、会計面の充実化を早急にはかりたいと方針をのべた。

当支部も各地区ごとに幹事を選出したわけで各幹事の自己紹介が行われ、校友会から出席の大月会長、櫻本副会長らも地元支部の盛づきに祝意をのべた。

支部運営面についての意見交換や方針決定があり、道路問題について反対本部から詳しく説明するため、大月、阿部、神宅各反対本部副本部長が出席、阿部副本部長から報告があった。

得た室戸の村々には津波や風水害の紀念碑が多しくない。津呂という漁港を通りかかってふと路傍の石に刻まれた字を見ると「紀貫之朝臣舟泊の地」太い文字が書いてある。

「土佐日記」の作者が雨風や海賊におびえながら心ならずも十日を過ごしたという港はここであったのであろう。かつて舟がつないだ木にかいたほかに、はじめて見る木も少くない。それらそんな音がするのか、素人の私には「弘法大師のみなご」のような気がする。室戸崎の落日の出を見るため泊るつもりで来たのであるが、天候が悪くて望めそうにないので隣日に出立するという室津からの定期船で帰ることとし、出帆までに二時間あったので岬から〝お遍路さん〟の道を歩いてみた。台風に名を



（写真は岬の岩礁）

日本ところどころ
―一唄をたずねて―　㉝

土佐の高知のはりまや橋で坊さんかんざし買うの見たという「よさこい節」で知られたはりまや橋は高知の市街のまん中にある。大阪でいうならば新えびす橋のような位置にあるが、道路が広すぎて唄のできたころの情緒は見るべきよしもない。去年新しく作ったという朱塗の欄干もとってつけたようで柳の並木が僅かに救いを与えているが調和を欠いていることはたしかである。

そのはりまや橋の朝、細雨にぬれた柳の新芽を見ながら、ここを起点とする室戸行の急行バスに乗りこんで、八時に出発。たんたんとした舗装路を走ること一時間ぐらいで黒松林の海岸にでる。それからは殆んど海沿いの道を快走しながら、安芸、奈半利、羽根などの町を貫いて室津を過ぎると間もなく右手に黒い岩塊が点々と見え、波は海中のここかしこで白い飛沫をあげている。と見る間に室戸岬に到着停車となる。はりまや橋から三時間二十分、ほとんどだいたい一つづつ間もない快適なドライブであった。

太平洋の怒濤に洗われている岬の岩礁は目のとどく限り、奇々怪々の相ほうをもって展がり、あんたんたる曇天の下、暗褐色にぬれた岩は凄愴の気をただよわせている。かって桜島の熔岩原を見て感じたあの地獄的景観とは別種のものではあるが、一面ほとんど同じようなところである。桜島は広がりはるかに大きいが海が平静である。室戸は岩礁が一層立体的であるとともに常に波が大きくて砕けているので全く対立の姿勢をとって起点とする室戸行の急行バスに乗りこんで、八時に出発。たんたんとした舗装路を走ること一時間ぐらいで黒松林の海岸にでる。それからは殆んど海沿いの道を快走しながら、安芸、奈半利、羽根などの町を貫いて室津を過ぎると間もなく右手に黒い岩塊が点々と見え、波は海中のここかしこで白い飛沫をあげている。と見る間に室戸岬に到着停車となる。はりまや橋から三時間二十分、ほとんどだいたい一つづつ間もない快適なドライブであった。

室戸岬

藤本浩一

太平洋の怒濤に洗われている岬の岩礁は目のとどく限り、奇々怪々の相ほうをもって展がり、あんたんたる曇天の下、暗褐色にぬれた岩は凄愴の気をただよわせている。かって桜島の熔岩原を見て感じたあの地獄的景観とは別種のものではあるが、一面ほとんど同じようなところである。桜島は広がりはるかに大きいが海が平静である。室戸は岩礁が一層立体的であるとともに常に波が大きくて砕けているので全く対立の姿勢をとって起点とする室戸行の急行バスに乗りこんで、八時に出発。たんたんとした舗装路を走ること一時間ぐらいで黒松林の海岸にでる。それからは殆んど海沿いの道を快走しながら、安芸、奈半利、羽根などの町を貫いて室津を過ぎると間もなく右手に黒い岩塊が点々と見え、波は海中のここかしこで白い飛沫をあげている。と見る間に室戸岬に到着停車となる。はりまや橋から三時間二十分、ほとんどだいたい一つづつ間もない快適なドライブであった。

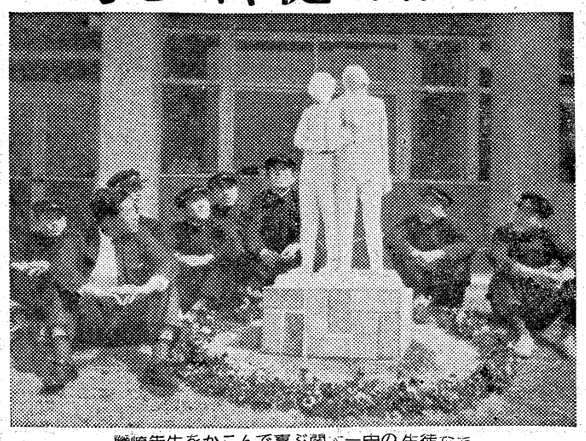
卒業の春…明暗二つ

1 一中中庭に伸びゆく少年像

卒業の春に、明るい話題が二つある。その一つは〝生徒に希望を…〟とおくられた一中の父兄の寄付金がき生て「伸びゆく少年像」が完成したこと。もう一つは働きながら学ぶ二部の学生が卒業を記念に四年間コツコツ集めた〝貝の研究〟を母校へそっくりおくった話

明るく、健やかに

千里山にある小学第一中学校の中庭にまた白色セメント製の二人の健康な少年像が建てられた。題して〝伸びゆく少年の像〟――これは校友会へも会館建設の一助にと寄付されたことのある藤江さんが愛児の中学卒業・高校進学を記念して子供たちに魂のよりどころをと寄付されたことに始まる。一中では三島校長らが相談のすえ何か記念像をということになさきに〝慈母の像〟を完成した藤崎誠嗣郎に制作を依頼するようになったもの。制作にあたり藤崎さんは「今の少年は、たとえば昔の二宮金次郎のように〝慈母像〟を持っています。それでこんどはさきの慈母像から発展したものとほぼ約四週間かかりました」と善心のたひとつ一中に名物ができたわけ。



藤崎先生をかこんで喜ぶ関大一中の生徒たち

藤江さんの寄付で完成

今月を中心に全国的に行われる統一選挙に立候補する校友は次のとおり。（ただし、校友会各地支部の通信により判明したかぎり）

大阪府議

【都島区】
小林巌（昭14専・法・代議員）弁理士・小林経済研究所長・諸現
吉田虎雄（昭13大法・代議員）広告宣伝会社社長・無元
【福島区】
松井良雄（昭27学・法・代議員）日本穀物検定協会大阪支部・無新
【大正区】
亀谷富蔵（法科卒）市齋経営・無新
横山栄吉（推）代議員・大正支部長）横山株式会社社長・自民現
【大淀区】
加藤博司（昭26学二法）社会党大阪府連・社新
【西成区】
三谷久男（昭6大法）会社重役・自民新
市本賀一（昭28学一法）果実商・無新
【東淀川区】
松井良雄（昭27学一法・代議員）日本穀物検定協会大阪支部・無新
【東成区】
小林巌（昭14専一法・代議員）弁理士・小林経済研究所長・諸現
吉田虎雄（昭13大法・代議員）広告宣伝会社社長・無元
【阿倍野区】
江村宇身（大12専法、代議員、阿倍野支部長）計理士、税理士・自民元
【住吉区】
阪井正一（昭16六経）吹田市議・共新
佐々木秒夫（昭和27院法研）吹田市議・無新
【守口市】
弓庭元一（大6専法、代議員、池田支部長）弁護士・無元
【吹田市】
阪井正一（昭16六経）吹田市議・共新
佐々木秒夫（昭和27院法研）吹田市議・無新
【和泉市】
佐野浩（経済科卒）紡績会社重役・自民現

大阪市議

【福島区】
中沢洋左右（昭31学一法、代議員）衣服製造業・無新
【東区】
植田完治（昭7大法、代議員、東支部長）弁護士、自民元
【東住吉区】
中石清一（昭5大法、代議員）大阪市議・無現
坂井三郎（昭16六政）計理士、税理士、自民現
田中豊栄（法科卒）団体役員、社新
【大淀区】
中橋巻一（昭8大経、代議員、大淀支部長）木材商・無新
【天王寺区】
南勉（昭16六法）料理店経営・無

他府県議

【城東区】
長田義一（椎）大阪市議、自民現
【旭区】
高田密蔵（大12専法）税理士、自民新
【生野区】
樽山高光（昭3専法）薬局経営、自民現
井脇健三（昭25院法）税理士、社新
【東淀川区】
奥野芳三郎（法科卒）共産党委員
奥野芳一（昭6大法）兵庫県議・兵庫県議
丹羽英一（昭6大法）兵庫県議・兵庫県議
兵庫県議
板東良男（臨16六政）計理士・税理士・兵庫県議
武藤六三郎（昭4専経・岐阜副支部長）弁護士・岐阜県議
小谷守（昭11専法）団体役員・兵庫県議
樫本昭（昭28前一経）金融組合役員・神戸市議
野田俊春（昭27学一法）司法書士・神戸市議
参議院補選
大川光三（大12専経）弁護士。参院議員・地方区。
鍋島友三郎（昭27学二法、代議員）弁護士・兵庫県議
丸山弘（昭16専経）和歌山県議・和歌山県議
伊賀定盛（昭19大法、代議員）兵庫県議・兵庫県議
寺西武（昭24大法、常議員、旭支部長）寺西鉱泉社長、社現
川田実（昭25学一経、代議員）無新
【生野区】
樽山高光（昭3専法）薬局経営、自民現
井脇健三（昭25院法）税理士、社新
【東淀川区】
奥野芳三郎（法科卒）共産党委員
小谷守（昭11専法）団体役員・兵庫県議
樫本昭（昭28前一経）金融組合役員・神戸市議
野田俊春（昭27学一法）司法書士・神戸市議
参議院補選
大川光三（大12専経）弁護士。参院議員・地方区。
【阿倍野区】
江村宇身（大12専法、代議員、阿倍野支部長）計理士、税理士・自民元
【吹田市】
阪井正一（昭16六経）吹田市議・共新
佐々木秒夫（昭和27院法研）吹田市議・無新
【守口市】
弓庭元一（大6専法、代議員、池田支部長）弁護士・無元
【住吉区】
佐野浩（経済科卒）紡績会社重役・自民現
【東区】
植田完治（昭7大法、代議員、東支部長）弁護士、自民元
【東住吉区】
中石清一（昭5大法、代議員）大阪市議・無現
坂井三郎（昭16六政）計理士、税理士、自民現
田中豊栄（法科卒）団体役員、社新
【大淀区】
中橋巻一（昭8大経、代議員、大淀支部長）木材商・無新
【天王寺区】
南勉（昭16六法）料理店経営、無

ビルの工事現場から286種

2 貝の研究をそっくり寄贈

入念な採集 末永教授もおどろく

ビルで二十五種、三十二年三月から二十三年二月まで毎日別館で二十一種、二十二年八月から三十二年九月まで住友生命ビルで六十六種、二十二年八月から三十二年九月まで三井ビルで三十九種、計二百八十六種千五百余個の貝を集めた。そのほとんどが半化石である。

これを科学的に分類しようと、教えをこいに本学末永雅雄教授や大阪市立自然科学博物館の堀勝氏をたずねたが、両氏とも、紀平君の研究に舌をまいた。――こうして「貝の分類カード」と「貝の分布状態の一覧表」「貝の標本」を毎晩おそくまでかかって作りあげそっくり母校へ寄贈したのだ。本学では考古学の貴重な資料として千里山・図書館玄関に陳列する。

紀平君は郷里の呉へかえり小学校の先生になるといっていたが職場を生かしてコツコツまとめて来た同君の研究は各方面で注目をあつめている。

末永教授の話　働きながら勉強すること自体大へんなことなのに紀平君の研究の入念な集め方と整理ぶりにはびっくりした。ビルの工事現場で、みすみす捨てられてゆく資料に目をつけ、こういう分布図をつくったのは画期的な仕事である。

ガイダンスおわる

新入生を対象とした恒例のガイダンスは「指導週間」と題して四月十日から十四日まで多彩な行事をおこなった。

佐藤、三たび選手権

オリンピック出場は確実

全日本フィギュア・スケート

第二十七回全日本フィギュア・スケート選手権大会兼オリンピック候補選手選考競技会は四月一日から三日間、大阪スケートリンクで行われ予想どおり選手権男子では佐藤信夫（関大一高・大阪クラブ）と西倉（立教）の争いとなり第一日目からリードを奪った佐藤が四十点の差で西倉を押さえ三連勝をかざった。

スクール、フリーともに一段の進境

▼第一、二日　この両日はスクールが行われた。第一日目にして佐藤はわずかな差ながら西倉をリード。第一日目でもヤマ場とみられた第五課題ダブル・スリー、チェンジ・スリーで西倉を押えて9―5の差で佐藤が勝った。これは、かってスクールでは西倉に勝てなかった佐藤の進境がうかがえるもので図形観念、エッジの使い方に一段の成長がみられた。

【スクール】①佐藤729・9（順位点9）②西倉720・4.12）③杉田（駿台クラ）④杉木（明治）

▼第三日　フリーでは文句なく佐藤がまさり542・39―511・73と西倉をリード、これで佐藤の三連勝が決った。

【総合順位】①佐藤1272.26（順位点7）②西倉1232.15（15）杉田④杉木。

これで佐藤は昭和八年、関学の片山敏一選手の三連勝の記録とタイとなり、来年は新記録を出すことが濃厚である。

苦手だったスクールでも西倉を押えたことは大きく、フリーでも弱点といわれた全体の構成にまとまりをみせてオリンピックでの活躍が期待される。

なお四日発表されたオリンピック最終候補には同君のほかに西倉、杉田、女子からは上野、福原、原、大川ら八選手があげられ正式決定は箱根駒ケ岳での合宿がすんでからになるもよう。

また二部の部でも同選手は上羽慶彦（京都東山7）選手におしくも及ばなかったが二位に入った。

大島謙吉氏も

五輪東京招致使節団　日本体育協会では一九六四年オリンピック東京招致使節団に竹田垣徳氏（JOC委員会）ら十氏を選んだと四月八日発表した。このなかには校友六鳥鎌吉氏（毎日新聞東京本社運動部長）も加っているが一行は五月十九日ローマで行われるIOCと各国NOCの打合せ会議および二十三日ミュンヘンのIOC総会に出席する。

立候補する校友

校友会各地支部調べ

※

【堺市】
遠藤吉次（昭和7専経・芝江鉄工所監査役・無新
【豊中市】
北之坊林一（関中）会社重役
奥村肇（法科卒）税理士社新
【池田市】
橋本親義（推）三上マーク相談役・自民現
【河内長野市】
橋上義雄（推）南河内農協組合長会長・諮現
【松原市】
浦野健二郎（昭8大法、代議員）幼稚園経営・無新

牧（拳闘）プロに転向

関大が生んだ空前の大ボクサー、牧昭男選手（三＝フライ級＝はかねてプロ入りがうわさされていたが、さる三月九日、大阪市都島区野田中外ボクシング・クラブと正式契約を結んだ。

千星1マイルに優勝

全日本インドア・スピード

三月二十日大阪梅田スケートリンクで行われた第六回全日本インドア・スピード・スケート選手権大会で関六の千星敏三選手は一万の部で優勝、選手権をとった。記録は3分22秒7。

また二万の部でも同選手は上羽慶彦（京都東山7）選手におしくも及ばなかったが二位に入った。

おしまれる五輪ゆき断念

解説　牧選手は世界フライ級二位、アジア大会チャンピオン、全日本選手権者など輝かしい経歴の持主で来年のローマ・オリンピック出場が期待されていた。その意味でプロ転向を惜しむファンは多い。牧選手自身伝統ある関大ボクシング部の名誉のためにもローマ行きを念願としていたが、このほどのプロ転向にはいろいろ事情があるもの。家庭、学業、運動選手の票立の困難さに悩んだ牧選手はかれの育てた立体交差道路が縦横に走り、日本では想像もできない多くの自動車が整然と流れている光景はまさにアメリカの本領をみせつけられた感があります。ムダのない〝合理性〟がこんにちの偉大さをつくりあげたものだと痛感させられました。そして、もう一つはどんな場合でも人間の心を大事にすることです。機械化された大都市にも必ず緑ゆたかな公園があり人々はそこで静かにいこいをとっています。

（四月一日受信）

征津田、早くも海外遠

今春入学のサッカーの新人

今春、関大経済学部に入学した高校サッカーの大物・津田信弘君（ハ＝大阪明星高出身＝は早くも関大サッカー部の練習に加わり、当部のホープであるが、四月学生サッカーチームの一員として参加することになった。なお、同選手は四月十三日一行とともに空路羽田を発って十四日香港についたが、各地を転戦し帰国するのは五月四日の予定。

いきわたる合理性

西脇君（レッスン）のアメリカだより

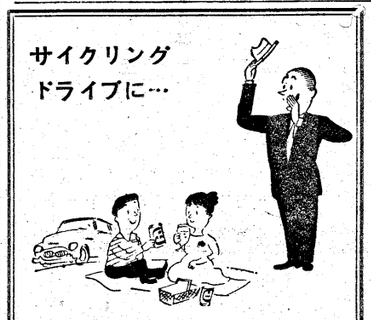
米国アマチュア・レスリング協会から招へいされて訪米レスリング団一行に加わった本学レスリング部主将・西脇隆君（バンタム級）からアメリカだよりがよせられた。

日本では桜が満開のことでしょう。わたしは日本レスリング団の一員として、いまサンフランシスコに滞在しております。ここに来るまでハワイ、オークランド、バークレイを転戦しました。こちらも、もう春です。春といっても二十五―八度と気温が高く初夏の陽気です。

さて合衆国の印象ですが、第一にすべてのことにおいてスケールが大きいということです。広大な土地、ゆたかな資源を最大限に利用してすばらしい都市、国家をきずきあげる合理性には驚かされました。

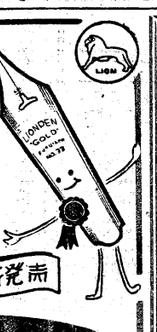
サンフランシスコにおいえば、すばらしい道高層建築などから大都市が出ている感じです。完備された立体交差道路が縦横に走り、日本では想像もできない多くの自動車が整然と流れている光景はまさにアメリカの本領をみせつけられます。ムダのない〝合

サイクリング
ドライブに…



缶入　一缶　75円
アサヒゴールド

新しい感覚
書き味の良さ



新発売
ライオンペン
ゴールド
福井商事株式会社

売販び及版出書書参考書・籍書一般・書教科

関西大学指定

株式会社 青山書店

本店・吹田市千里山大学前通り
電話㊳4337番
出張所・大阪市大淀区長柄西通1の40
電話㉟4506番

国鉄団体乗車券、電車、航空機、汽船、旅館、宿泊斡旋等、旅行一切の御相談には是非共弊社を御利用下さい。

国鉄公認
全日本観光株式会社

社長　参議院議員　関大法科卒業　中村正雄

本社　東京都港区芝田村町二ノ二
電話㊷七五六一三・九七七五一六・二三六三・四三八九
鉄道電話（東京）四六四六
関西営業所　大阪市北区梅田町（産経ビル内）
電話㊳一二一七一・二二一一（大阪）内線六九五一四八
鉄道電話（大阪）三九一
案内所　一の関、小牟田、熊谷、仙台、水戸、千葉、東京、横浜、甲府、米沢、大阪、姫路、和歌山、岡山、京都、八幡、別府、長崎、福山、戸畑

出版・教科書・専門図書

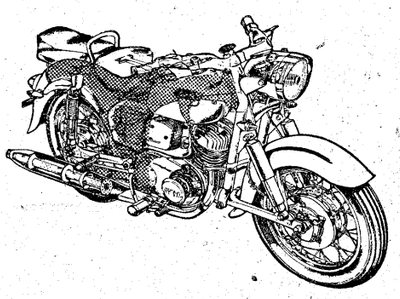
祝御入学

三和書房
大阪市大淀区長柄中通2の12
TEL（35）5880

営業品目
各種建設機械・機械工具類

大谷工機株式会社
専務取締役　大谷寿信（旧姓有本）
大阪市西区阿波座四番町三九
電話大阪（53）三五四六番
三一四二番

クルーザー号　地区代理店
各種自動車販売修理
日野オリエント代理店
（大阪府認証工場）



株式会社 昌運
電話㊸0207㊹3055番
専務取締役　中本勇
御用命には特に御便宜を図ります
本社・大阪市浪速区西円手町1025番地
支店・大阪市住吉区住之江町237番地

好校友登場 ②

ぼくは関大の『ホープさん』

新入生のうち、体育会に所属する有望新人を特集しました。選手名は各部マネージャーの推せんによるものです。

今年度体育会のルーキー

主将。

【陸上ホッケー】
北地隆造（経・星光学院）一六八㌢、57㌔。LH。国体優勝二回など多くの六会歴の持主。
佐土市長（経・大谷高）一七七㌢、60㌔。LM。全日高校選手権第四位。
辻和男（経・大谷高）一六二㌢、55㌔。RW。
【剣道】
斉藤辰行（法・関六一高）一七七㌢、72㌔。二段。府体優勝。北摂大会優勝。
今長義文（経・宮崎県高千穂高）164㌢、55㌔。三段国体出場。全日高校最優秀選手。
稲生則弘（商・小倉高）162㌢、54㌔。二段。
【水上競技】
横田耕三（経・高知高）174㌢、68㌔。バタフライ。四国大会入賞全日大会出場。今年度関西学生選手権競泳の部で早くも優勝候補にあげられている。
桂紀夫（法・安宮高）自由形。
大原正義（経・耐久高）胸囲一㍍ゆうい体重。槍投全国高校ランキング一位（16㍍20）砲丸投同一位（14㍍41）高校東西対抗槍投一位。
大塚信二（経・国加高）長身。一一〇TH全国高校ランキング八位（15秒6）。
【空手道】
称葉久二（経・岸和田産業高）一七〇㌢、六二㌔。修道館道場二段。
木戸祥雄（経・三田高）一七一㌢、六三㌔。日本空手道協会西宮道場二段。
以倉健次（経・北陽高）一六八㌢、62㌔。聖徳館二段。
【軟式庭球】
六鳴幸児（文・尼崎北高）154㌢、50㌔。後衛。小柄だが安定したフォームとストロークの持主。兵庫県下新人大会第二位ほか。
菅力淳（経・春日丘高）177㌢、65㌔。後衛。長身を利してトップ打ちが武器。スピードボールは超高校級だった。大阪府民大会優勝。全日本大会五回戦、同団体戦準々決勝。
【柔道】
田中宏二（経・大谷高）176㌢、97㌔。二段。巨体を利して内股、跳腰、寝技が得意。全国高校ほか出場。
北野一男（文・興国商）174㌢、86㌔。二段。左内股、大外刈が武器。近畿大会出場。
森永勲（法・市岡高）一六八㌢、75㌔。背負投が威手。国体、近畿高校に出場。
【バドミントン】
国信祝二（商・西大寺高）一六〇㌢、50㌔。三年間連続国体出場。岡山県昨年ダブルス二連勝。
小迫良治（経・広島県立忠海高）一七二㌢、55㌔。広島県リーダー格。
【米式フットボール】
西脇茂（経・星陵高）ライト。ハーフ・バック。全日、西日に出場。神戸ボウルにも大学選抜とともに出たことがある。
平山毅（法・関大一高）同右。全日、全西出場。オープン戦では大学選手を相手にしてきた。
幡上正義（商・扇町商）柔道初段。体力に恵まれ全日、大阪府下に出場。
【相撲】
平野孝行（文・徳島牧野高）一七〇㌢、七〇㌔。九㌢。全日本高校相撲選手権優勝。国体優勝。高校時代大将。右四つ、寄切り。

女子校友登場 ②

どこまでも女らしく

合田允子さん(24)

……関西テレビ企画部……

演劇が小さいときからすきで入学と同時に学園座に入りました。その年の文化祭に「アルトハイデルベルヒ」にケティの役で出たときのことが忘れられません。その後学外の演劇活動として人形劇をつづけました。わたしの声はベビー・ボイスだから打ってつけなのよ（笑）こんど、このお社事につけたもそういう前歴がもあった。でもお仕事の内容はモニターだからそれとは全然関係がありません。何しろ朝から晩までテレビはかりみていてミスを探す。のおかげで万事にわたりアラサガシがうまくなっちゃって…（笑）テレビばかりみているから世相がよくわかるだろうて？そうでもないの。映像ばかり目を皿にしてにらんでいるから内容がお留守になりがちです。でもやりがいのある仕事ですね。在学中に習った統計学も生きて来ますし……。

この会社には校友がたくさんおられます。とても心強い。でも勤めに出て初めて男性の苦労がわかりました。まして新しい会社でしょ。だからみんな仕事以外何にも考えてないみたい。わたしも当分はお仕事にうちこむつもりです。あら、結婚？……考えてませんわ。売れのこりになんになります。なんだか最近の女の人は男性に〝対抗〟する風調があるみたいだけど、わたしは男性を〝理解〟したい。必ずしも男女同権は対抗から生れないと思うのですが……。まあ、わたしの信念としては、男子学生の多い大学を卒業しても、男性的な職場にあっても、女はどこまでも「女らしく」ということを大切にしたいこと。仕事の上でひそれにしても経・商学部に女子学生が少いのはどうしたことでしょうね。わたしは入学してから「ここは女人禁制の学部かしら」とびっくりしました。だって全学年を通じて経済学部の女子学生はわずか一、三名だったもの。これからの社会では女性の経済知識ご必要だろうと思われるのに、不思議なことですね。

でも楽しかったわ。在学中はスポーツがすきでしたから六大学野球の関西戦はもちろん、ボクシング、サッカー…何でもみにゆきました。しまいにはとうとう応援団の名誉団員だなんてみんなにヒヤかされちゃって。

合田さんは昭和十年一月一日生れの二十四才。市岡高校を経て関大第一部経済学部に入学したのが二十八年。在学中は市原ゼミで「人口論」を専攻した。フランス人形みたいな可愛い　お顔はクラブ活動（演劇）などを通じて〝大学の人気者〟だった。趣味は洋楽（とくに童謡とのよし）演劇、スポーツ。酒も〝少々〟のめる。〝ダンスはできない。関西テレビに入ったのが昨年十二月。当分仕事にうち込みたいとおっしゃる。教育熱心な父・次作さん（建築業）はかって関大教育後援会の幹事をつとめたこともある。次女。現住所＝大阪市福島区上海老江二ノ一二。

千里山評論

閑話二題

――月給2倍論と横綱審議会――

井上吉次郎

一…　日、学園の理事者が、財政政策の確立を説き「俸給十年据置き説」を学園教職・事務職全員の前に唱えても、たいした動揺をみせまい。それが新年のトン機嫌からの不感というわけでなく、やはり生活は水物であり物価変動は法則的なほどの常態であるから、給与基準の十年据置きなど考えられない、という考えが自然に起こっての泰然態度であろうか。少くとも新年初夢の賃金カットの夢みて目ざめた後味くらいにしか感ぜられなんだ、としても無神経とはいわれまい。

これがある紡績会社みたいに、日限と金額を切って賃下げを発表したのであったら、とても黙って引下れまい。人も学歴も同じく目前の事態に適応して動くものである。人には予見予知があるといっても、先の百より今五十であり、他人の病気を癌にさえるわけでなくこんな職員たちが、つまり相当自分の懐具合についての経済学的智見を持つ職員たちが、池田勇人の月給二倍論を聞いて、翌月から月給袋が倍になるほどに勘違いの喜び方をするはずがない。今月もまた依然として例月どおり、あるいは差引物で例月より少額しか、金が入っていないのである。池田のウソ吐きめ、と怒るものがいたら大笑いだろう。

目…　先の話でなく、十年先の話をしているのだ、と聞いたら来年のことでも鬼が笑うというのに、こいつは大笑いだと急に池田勇人が慮外者顔にみえて来た、といわれる。十年先の話なら、据置き論より二倍論の方が景気がよくていい。

「日本経済は底が浅い」というが、昭和二九、三〇年以後、つまりこの前の不況後から神武景気にかけて非常に強くなっている。戦後はずっと機械や工場設備が貧弱で、需要に追いつけず「カネがあってもモノがない」というインフレの危険にさらされた。しかしここ数年は毎年、一兆四千億円から一兆六千億円の設備投資が行われ、供給力がうんとふえた。この力を十分に活用すれば国民のフトコロはもっと豊かになるはず。問題は足りない需要をふやすことだ。政府も財界も労働界も頭を切りかえて生産性をあげ賃金も大幅に引上げるならば、需要もふえ、日本経済は順調に伸びて行く。げんに国民全体の勤労所得は昭和二六年の一兆八千億円から二三年には四兆一千五百億円と二倍以上になったがやり方次第で今後五年、十年のうちに月給を二倍・三倍にすることも決して出来ない相談ではない」と種明かしを聞いてみれば、筋がとおっていて月給据置き論より面白い。

金持はすべて貧乏人に金を持たせたら無駄遣いをやるから、月給二倍はインフレを誘致する、と心配する。インフレとはカネ多くモノ少い現象だろうから、カネも多くモノも多ければ循環が円滑で心配ない。大体にカネなんてものは、モノを買うためのもので、貯めて通帳の額をふやすためにあるものでない。物価など需給の兼ね合いできまるものであるから、名目の高低は、釣合いさえとれていれば何でもない。われわれは、ある職場で十五年前定年退職したときの最終給与が年俸六千円だった。今日その地位のものが月給十万円取っても貧富の差等は付けられまい。月給五百円が十五年後十万円になっても驚くに足りない時の変遷において、二倍の、三倍のという倍率にビックリとは、それこそ全く驚き桃の木、山椒の木である。さらにまた第二の定年を間近かにひかえたものには、十年は暴か百年据置きでも全くトクともするものでないが、前十五年変転の跡を顧み、向う一年間には最低二倍ぐらいは動かないかと、他人事ながら考えられる。私鉄労組は、低姿勢で闘っても、基準賃金の六%は獲得出来た、一年六%つづけば十年で七二%、十五年経ては二倍を越しておつりが来る。もちろん月給が上っても、それだけ物価が上るんだから、なんにもならぬ、といわれる。むろんなんにもならない勘定にはなるけれども、事実になんにもならぬことも、気持の上では何かになることになる。

五…　千円札の月給袋と一万円札の月給袋では気持が違うんだ。といっても、インフレ謳歌論をやるのでない。釣合い論だ。だから、据置き論には物価釘付の裏書きがなければならない。でないと計画の基礎が失われる。二倍論には池田勇人の総理大臣あるいは大蔵大臣の裏付けが必要だというのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。われわれの釣合い論は政治的意味を持たず、かつ非経済人の経済論であるから、至極簡単だ。月給が二倍になるときは、月謝も二倍になる、それは経済自然の成行きである。月謝が二倍になるのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。われわれの釣合い論は政治的意味を持たず、かつ非経済人の経済論であるから、至極簡単だ。月給が二倍になるときは、月謝も二倍になる、それは経済自然の成行きである。月謝が二倍になるのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。われわれの釣合い論は政治的意味を持たず、かつ非経済人の経済論であるから、至極簡単だ。月給が二倍になるときは、月謝も二倍になる、それは経済自然の成行きである。月謝が二倍になるのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。われわれの釣合い論は政治的意味を持たず、かつ非経済人の経済論であるから、至極簡単だ。月給が二倍になるときは、月謝も二倍になる、それは経済自然の成行きである。月謝が二倍になるのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。われわれの釣合い論は政治的意味を持たず、かつ非経済人の経済論であるから、至極簡単だ。月給が二倍になるときは、月謝も二倍になる、それは経済自然の成行きである。月謝が二倍になるのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。われわれの釣合い論は政治的意味を持たず、かつ非経済人の経済論であるから、至極簡単だ。月給が二倍になるときは、月謝も二倍になる、それは経済自然の成行きである。月謝が二倍になるのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。われわれの釣合い論は政治的意味を持たず、かつ非経済人の経済論であるから、至極簡単だ。月給が二倍になるときは、月謝も二倍になる、それは経済自然の成行きである。月謝が二倍になるのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。われわれの釣合い論は政治的意味を持たず、かつ非経済人の経済論であるから、至極簡単だ。月給が二倍になるときは、月謝も二倍になる、それは経済自然の成行きである。月謝が二倍になるのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。われわれの釣合い論は政治的意味を持たず、かつ非経済人の経済論であるから、至極簡単だ。月給が二倍になるときは、月謝も二倍になる、それは経済自然の成行きである。月謝が二倍になるのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。われわれの釣合い論は政治的意味を持たず、かつ非経済人の経済論であるから、至極簡単だ。月給が二倍になるときは、月謝も二倍になる、それは経済自然の成行きである。月謝が二倍になるのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。われわれの釣合い論は政治的意味を持たず、かつ非経済人の経済論であるから、至極簡単だ。月給が二倍になるときは、月謝も二倍になる、それは経済自然の成行きである。月謝が二倍になるのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。われわれの釣合い論は政治的意味を持たず、かつ非経済人の経済論であるから、至極簡単だ。月給が二倍になるときは、月謝も二倍になる、それは経済自然の成行きである。月謝が二倍になるのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。われわれの釣合い論は政治的意味を持たず、かつ非経済人の経済論であるから、至極簡単だ。月給が二倍になるときは、月謝も二倍になる、それは経済自然の成行きである。月謝が二倍になるのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。われわれの釣合い論は政治的意味を持たず、かつ非経済人の経済論であるから、至極簡単だ。月給が二倍になるときは、月謝も二倍になる、それは経済自然の成行きである。月謝が二倍になるのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。われわれの釣合い論は政治的意味を持たず、かつ非経済人の経済論であるから、至極簡単だ。月給が二倍になるときは、月謝も二倍になる、それは経済自然の成行きである。月謝が二倍になるのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。われわれの釣合い論は政治的意味を持たず、かつ非経済人の経済論であるから、至極簡単だ。月給が二倍になるときは、月謝も二倍になる、それは経済自然の成行きである。月謝が二倍になるのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。われわれの釣合い論は政治的意味を持たず、かつ非経済人の経済論であるから、至極簡単だ。月給が二倍になるときは、月謝も二倍になる、それは経済自然の成行きである。月謝が二倍になるのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。われわれの釣合い論は政治的意味を持たず、かつ非経済人の経済論であるから、至極簡単だ。月給が二倍になるときは、月謝も二倍になる、それは経済自然の成行きである。月謝が二倍になるのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。

第一信

十五日―道にまよい困惑する県民の親切な案内をうけ、そのうえ暖い県民の激励をうけ、旅の情を知る。意気あがりペダルも軽い。この日もナイト・ラン強行また強行。ついに午前一時すぎ福山城跡につく。テントをはり古城の松と三日月をあおぎ凡八をふく。まさに旅情の真骨頂に酔う。

十六日―昼すぎ尾道付近から雨に災され難行。とくに広島名題の難所にさしかかりやむなく小村（新庄）の商人宿にとまる。ここは古くから行商人の宿として知られるかなか情緒がある。反省会をもつ。

十七日―昨日にうってかわり快晴に恵まれ広島に向け出発。途中八本松までの難所を突破、下り坂の舗装路に気をよくし最高時速52㌔でつっ走る。夕刻原爆投下地点で記念撮影。夜、校友会広島支部のお世話で市内見物、広島の復興ぶり、税金の高さに驚く。やはり原爆ドームが印象深い。

十八日―景勝地宮島、岩国錦帯橋で休憩し観光客と歓談。関大の名声上る。夜宿に困り警察にたよるも効果なく、荒れたる神社の御堂にとまる。

十九日―いよいよ本州とお別れ。さすがに前三日間百㌔以上走りつづけてきたので疲れがひどく初めて旅館らしき旅館にとまる。宿の主人の好意と激励は家を離れたわれわれには身にしみる思いがする。古言によれば「渡る世間に鬼はなし」というが、われわれのごんどの試みで多くの人々の善意に感激するところ多く、そのため教えられるところ甚大で学業のほか社会勉強に大いに有意義な旅ができたと喜ぶ。

第二信

二十日―関門トンネルを通り九州入り。いよいよ民謡をたずねての活動がはじまる。福岡は江戸時代、黒田候の城下町として栄え、その名残りが自につく。

黒田節は勇猛な精神をうたい、明治に入って博多節、博多音頭、博多ぶしは特質であって、類入猿といえども猿にはできない芸当である。故にせっかく生を人間に享けたのであるから、先行楽観的な考えを持つがよく、いかにひかえ目にいっても、月給二倍論ぐらいは打出したがよい。インフレ禍など粗菜というものである。

※　※　※

横…　綱審議会は新横綱朝汐について、先行き不安の表情をみせた。足腰たしめ老人たちが、やっと自動車で相撲場に送り込まれて、立っている朝汐がひょっとして土俵の砂に横たわるのでないかと心配する。押しても突いても微動も動かぬ横綱なら、そんなの他力士と相撲を取っても面白くない。どんなに強いといっても、人間であり、相手も力持ちだ。ときにはいもし突き倒されもするから、相撲になる、勝負に懸賞もかかる。取とばしを恐れて横綱を出し惜んだら、いつまで経っても横綱は出せない。今日一年六場所、二場所十五日も取らせて、大関二場所以上連続二優勝というような非常識な条件で横綱資格を審議し、いつも審議条件の具備せぬ横綱が出来て、ブツクサいう審議会なんて、馬鹿々々しいものである。今日の相撲ファンは、ラジオ・テレビの即ち電波マス・コミのお陰で、土俵の周囲に直接耳目を運んで「特等席見物」をやるファンが一千万人にも及んでいるのであるから、そんな審議会の五人六人の意見なんかで横綱問題を動かされては世間が承知しない。

こ…　のマス・コミの世の中で全く無用の長物は髪を切った若年寄り審議委員という老人だろう。伝統なり告朔の餼羊の如く力士のチョンマゲも吉田司家も尊重されてよいが、今どきの横綱審議会はお相撲さんに文学的表現の決議文をみせるだけの能であるから、全く役にも立たぬ会合といえる。世間には決議や声明だけやる会合もないわけでないが、一千万ファンとの関連で考えられるだけに、審議会のナンセンスが目立つ。

（文学部教授・経政研究所長）

文学散歩

魚澄先生の思い出

横田健一

初めて先生のお顔をみた時の第一印象は「色の黒い人だなあ」であり「実に話のうまい人だなあ」ということだった。たしか昭和十年、私の高校二年のころだったと思う。京大読史会大会で先生は「歴史地理学上よりみたる但馬円山川流域」という研究を発表された。しかしここ数年は毎年、一兆四千億円から一兆六千億円の設備投資が行われ、供給力がうんとふえた。この力を十分に活用すれば国民のフトコロはもっと豊かになるはず。問題は足りない需要をふやすことだ。政府も財界も労働界も頭を切りかえたら無駄遣いをやるから、月給二倍はインフレを誘致する、と心配する。インフレとはカネ多くモノ少い現象だろうから、カネも多くモノも多ければ循環が円滑で心配ない。大体にカネなんてものは、モノを買うためのもので、貯めて通帳の額をふやすためにあるものでない。物価など需給の兼ね合いできまるものであるから、名目の高低は、釣合いさえとれていれば何でもない。われわれは、ある職場で十五年前定年退職したときの最終給与が年俸六千円だった。今日その地位のものが月給十万円取っても貧富の差等は付けられまい。月給五百円が十五年後十万円になっても驚くに足りない時の変遷において、二倍の、三倍のという倍率にビックリとは、それこそ全く驚き桃の木、山椒の木である。さらにまた第二の定年を間近かにひかえたものには、十年は暴か百年据置きでも全くトクともするものでないが、前十五年変転の跡を顧み、向う一年間には最低二倍ぐらいは動かないかと、他人事ながら考えられる。私鉄労組は、低姿勢で闘っても、基準賃金の六%は獲得出来た、一年六%つづけば十年で七二%、十五年経ては二倍を越しておつりが来る。もちろん月給が上っても、それだけ物価が上るんだから、なんにもならぬ、といわれる。むろんなんにもならない勘定にはなるけれども、事実になんにもならぬことも、気持の上では何かになることになる。

五…　千円札の月給袋と一万円札の月給袋では気持が違うんだ。といっても、インフレ謳歌論をやるのでない。釣合い論だ。だから、据置き論には物価釘付の裏書きがなければならない。でないと計画の基礎が失われる。二倍論には池田勇人の総理大臣あるいは大蔵大臣の裏付けが必要だというのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。われわれの釣合い論は政治的意味を持たず、かつ非経済人の経済論であるから、至極簡単だ。月給が二倍になるときは、月謝も二倍になる、それは経済自然の成行きである。月謝が二倍になるのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。われわれの釣合い論は政治的意味を持たず、かつ非経済人の経済論であるから、至極簡単だ。月給が二倍になるときは、月謝も二倍になる、それは経済自然の成行きである。月謝が二倍になるのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。われわれの釣合い論は政治的意味を持たず、かつ非経済人の経済論であるから、至極簡単だ。月給が二倍になるときは、月謝も二倍になる、それは経済自然の成行きである。月謝が二倍になるのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。われわれの釣合い論は政治的意味を持たず、かつ非経済人の経済論であるから、至極簡単だ。月給が二倍になるときは、月謝も二倍になる、それは経済自然の成行きである。月謝が二倍になるのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。われわれの釣合い論は政治的意味を持たず、かつ非経済人の経済論であるから、至極簡単だ。月給が二倍になるときは、月謝も二倍になる、それは経済自然の成行きである。月謝が二倍になるのであれば、それは経済問題でなく、政治のキャッチフレーズに堕してしまう。

いる風格をたたえたのは、気さくで温い人柄のほかに、明快なやさしい文章と話術によることが大きい。

講義は精細で、休みがなく、余談や冗談もなくタップリとやられ「記」（室町末期の関白近衛政家の日記）を講述された。真紅に金の背文字を入れた千五百員二巻の大冊を買いこみ、読破したことは楽しい思い出である。結局そのレポート澄先生の室町時代を著わして、学界に名声を馳せ、その遠書は昭和十五年総合日本史六系南北朝時代の巨冊となってあらわれた。南北朝、室町時代史また古文書学の権威であり、わが歴史地理学の開拓者であり、近畿地方史の大御所だった。その史風は足で書かれた堅実穏健な実証主義であった。戦後一流の大家がことごとく追放になったときに、先生のみ免れたのは、その堅実さを物語る。昭和廿一年、建武中興時代の政治社会勢に関する論文で学位を得られた（京大）。編著書には甲冑についての論文は勤の学的生涯であった。

先生は神戸一中、八高（第一回生）をへて大正三年東大を卒業、京大助手、竜大講師をへて、大正十年三十二才の若さで京都府立亀岡高女校長になり、十三年大阪府女専教授となられた。三十四歳で名著六朝関の日本文化史（二巻）

術会議会員として（第二期は惜しくも次点）また阪大、広大、武庫川大、香川大、島根大などの講義に赴かれ、また広島、青屋、明石西宮、豊中各市の市史編さんの指導、監修、大阪・兵庫県の文化財保護事業、しばしばにのぼる講演に繁忙をきわめられた。昭和三十二年五月の学術会議に数日上京後香川大学で一週間の集中講義をされた後は、さすがに頑健な先生も寝こまれ、その頃から少し弱ってこられ、地獄坂の上りがえらいともらされた。先生に無理を願ったことが悔まれる。

だが忙中の閑を大学ホールの昼時などゆっくりとタバコをふかしながら（先生はタバコ好きだった）私ら相手の雑談を楽のしまれた。学会シーズンには出張土産の菓子など出ると甘いもの好きの先生はよろこばれ、ある時など栄太楼の「梅ぼし」の罐ごと一残りは僕が貰っておくよ」とポケットに入れてもって行かれたこともあった。

先生はよく学生の世話をされた大阪女専の初期の卒業生である木下教授に伺うと「先生は困っている人はトコトンまで世話をされ、学生に絶大な人気があった」という。こんな話がある。某大学での教え子だが、共産党員で活発な闘士だった某君が、こたぶんにもれず就職口がなく困っていた。先生は東京方面に口を探してやられ、困っているときくと東上の際は呼び出して飯を食わせ、小遣まで与えられたという。第三期学術会議の選挙の際、同君が選挙本部に手紙をよこし「必ず投票します。ただし私のような党員が保守派の先生に投票したことがわかると立場上困るから、内密に願いたい」といってきた。三九四票で第一部史学部門中最高点だった先生の抱擁性に感銘したと同時に、先生の人柄にあったという。

先生は本務の傍ら第一・三期学長、副支部長が夕食会を持って下さり長崎一流の料亭へあがる。二氏とも「よく来た。関大にとって大いに誇らしい行動だ」とほめて下さり新聞にも報道して下さった。さいごに長崎民謡の一つ「アチャさん月琴節」を紹介しよう。

「おんだいや
そんげんしますな
ばけしとったい
どういう　こんなんな
よっさしか　もんじゃろか
ホーカイ　おんどが
あおもちゃ
外にある
あんた　すかんばい」

訳―いやですよ。そんなにふざけないで。人をバカにしてますね、ほんとにいやらしい人。私のすきな人はほかにいるのよ。あなたは嫌い。

これで日程の三分の二を消化したわけであるが各地で親切にお世話くださった校友会支部のご助力を深く感謝する次第。

（なお三君はこのあと阿久根、鹿児島、宮崎などをまわり別府から船で帰阪するのは今月十六日予定）

民謡を訪ねて

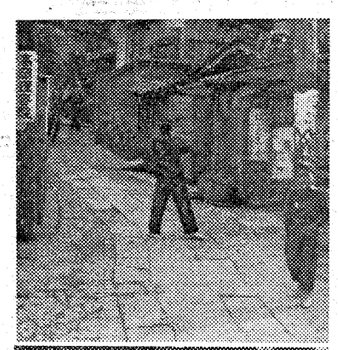
九州一周自転車旅行

（岩四・錦帯橋を背にした三君）

邦楽部三君の現地報告

民謡をたずねて九州を自転車で一周しようと、さる三月十二日千里山正門をたった本学邦楽部の平田健（法四）樋口勝彦（法四）白神康司（商三）の三君は各方面に数々の話題をまきながら、いま最後の目的地別府をめざしてペダルをふみつづけている。若さにものをいわせた三君の試みは巡行先の新聞にも報道され、校友会支部の親切もあって成功裏に終りそう。

ここに紹介するものは三君が巡行のあいまに校友会によせてきた現地報告（写真も）第一信は三月二十三日、第二信は同二十九日に受取ったものである。



㊤田緒ある長崎の石たたみ㊦九州最大の目抜どおり福岡市東中州。

多小眼が流行し、とくに博多節は全国を風ビ、現在でも科学あるいは邦楽発表会では必ず歌われる。

二十四日―長崎に入り長崎、産経両新聞社を訪問、長崎新聞広告部長の篠原公正さん（校友会長崎支部長）のご親切で長崎民謡の権威である長崎図書館長・島内先生とあう。

二十五日―島内先生に民謡「春雨」「ぶらぶら節」また楽器の月琴（四絃でビワようのもの）などを説明していただく。「春雨」はよく知られた歌だが長崎の民謡であることはあまり知れわたっていないようだ。幕末に発生し創立三百年という遊廓「花月」（いまは一流の料亭）では即興歌が有名だった。

先生は神戸一中、八高（第一回生）をへて大正三年東大を卒業、京大助手、竜大講師をへて、大正十年三十二才の若さで京都府立亀岡高女校長になり、十三年大阪府女専教授となられた。三十四歳で名著六朝関の日本文化史（二巻）の室町時代を著わして、学界に名声を馳せ、その遠書は昭和十五年総合日本史六系南北朝時代の巨冊となってあらわれた。南北朝、室町時代史また古文書学の権威であり、わが歴史地理学の開拓者であり、近畿地方史の大御所だった。その史風は足で書かれた堅実穏健な実証主義であった。戦後一流の大家がことごとく追放になったときに、先生のみ免れたのは、その堅実さを物語る。昭和廿一年、建武中興時代の政治社会勢に関する論文で学位を得られた（京大）。編著書には甲冑についての論文は勤の学的生涯であった。

花ひらく

明珍のぼる

関西大学を　ここにきずくと
固くきざみ
深く掘り
関西大学は　力を潜ませる
土を掘り起こし
掘り起こし　掘り起こし
千里山の花と代えた
羽ばたく英姿を
晴れやかな学舎の影を落し
関西大学は　大きくなる
落日映え……
穏線ゆるやかに
吹田市北部に私の思いはかたまる
千里山線が大きくゆれる　そのあたり
モーターをこだまさせて……
爆音を立て

私は　ひとりの学生として
かつて
落日映ゆ
穏線ゆるやかに
そのあたり
千里山線が大きくゆれる
秋なれば　せせらぎ
春なれば　桜
大グラウンドに
荒畑が切り開かれる
丘がけずられ
追憶のとびらを鎖す
今や　その轟音は
ああ母校関西大学
関西大学を呼吸していた
うす暗い板張りの廊下のしみに
法文学舎の丸屋根にそそぐ雨や

ご注意ください！

――二七学生の物売り――

関西大学経済学部山内正行の名刺をもって、二名づれまたは三名づれで京阪神間の校友間をペン先など二、三点の学用品の行商に回っているとのことで、問い合せがありますが、学生課の調べでは在学の事実がありません。別に強要の事実はないようですが、ご注意下さい。

よろず相談

▽求配偶者

当方二十九歳女子。大手前高女、府立女専卒、現在父の会社（土地建物会社）に勤務。当方両親健在で姉はすでに嫁ぎ妹は貿易会社に勤務しています。適勤人で三十五、六歳までの方を望みます。再婚でも子供がなければ結構です。事務局内よろず相談係まで御照会下さい。

レース・カーテンで
お部屋を美しく…
全国有名デパートに存り
日東レース株式会社

松屋
貸衣裳
花嫁衣裳モーニング
洋装訪問着等
大阪市南区日本橋2丁目電停西側
松屋
電話㊀2522・1530
校友の皆様には特に御相談申し上げます

各種袋物額縁現金問屋
元禄
株式会社　廣島屋
専務取締役　藏田廣造
（昭25年経済卒）
営業所　大阪市東区博労町一丁目二六
電話本町（26）（三一六〇〇番）（五一六〇〇番）（八一六〇〇番）

果物問屋
大阪中央卸売市場果実ィ20店舗
長
森　惠三
昭和三十三年卒
電話㊻二一五一ー六番
場内七八二番
自宅　大阪市東淀川区瑞光通二丁目三
電話吹田㊳三〇四六番

大阪中央卸売市場内
大阪中央青果株式会社
社長　宮崎伸造
昭和十一年卒

大阪中央卸売市場内
グリル「中央」
井戸庸価
昭和二十五年卒

大阪中央市場内
芦友会有志

鰹節・削節
大吉商店
大谷吉彦
昭和二十八年卒
大阪市中央卸売市場十九ノ二
電話此花㊻一九四九番
大阪市西区江戸堀南通五丁目二〇ノ一
電話土佐堀㊹七七二三番

鰹節雑節問屋
大石商店
大石智三
昭和二十九年卒
大阪市中央卸売市場十九棟口
電話此花㊻八〇二一番
大阪市東住吉区大塚町三三番地

海産物卸商
庄八
角倉正蔵
昭和五年卒
営業所　大阪市福島区下福島三ノ三八
大阪中央卸売市場チノ二七
電話此花㊻一一四七番四一五一七番
場内五八四番
自宅　大阪市住吉区帝塚山東三ノ二四

商号
蒟蒻ぜんまい
雑穀
漬物の粕
万小
森位小兵衛商店
森位弘治
昭和二十三年卒
大阪中央卸売市場付属売店松棟
電話此花㊻大代表二二五一番
場内九九八番
自宅　大阪市北区菅原町二七番地
電話北㊳五五一二三番

大阪中央卸売市場内
紙袋・文房具店
松田商店
松田忠義
昭和三十年卒
電話市場内直通㊻四七八七番
自宅　大阪市東住吉区田辺西之町七ノ三三

果実問屋
川弥商店
長谷川保夫
昭和二十二年卒
営業所　大阪市中央卸売市場月1棟
果実部〇七十一号
電話此花㊻二一八四番
自宅　大阪府松原市池内町天美住園住宅地
電話松原一三五番

阪本産業株式会社
阪本芳一
旧姓　亀田　昭和二十五年卒
第一営業所
大阪市中央卸売市場果実部ロノ2号
果実問屋阪本商店
電話此花㊻二一五一ー二一五二番
第二営業所
大阪市都島区東野田七丁目
省線京橋駅前
京橋店㊳八〇〇番　自宅　大阪市都島区都南通五ノ一〇六

株式会社
正和
取締役社長　熊本精一
昭和二十七年卒
大阪市福島区下福島三丁目
中央卸売市場内塩干部
直通電話　此花㊻二八一九
代表電話　此花㊻一一五一ー六番
場内七一八番
自宅　大阪市福島区大野町二丁目二〇番地
電話此花㊻一〇四五番

木村食品株式会社
木村勝
昭和二十八年卒
市内福島区下福島三丁目三八
TEL㊻一一五一　場内六六六
大阪市浪速区元町一丁目七六三
電話㊹九一一二五番

大阪中央卸売市場十六棟
大五水産株式会社
門戸金治郎
昭和二十二年卒
仁井谷昭一
昭和二十二年卒
直通電話㊻此花四七九五・四七九六番

大五
一流メーカー品在庫豊富
大信販取扱
梅北隆洋服店
天六交叉点南西角
電話37〜七〇〇九番

目種営業
輸出用化粧合板・建築用化粧合板
其他各種化粧ベニヤ板一式・銘木各種ツキ板
日本化工合板株式会社
取締役社長　浅田美雄
本社　大阪市西成区花園町二九番地
電話大阪㊸六〇一四番
三二二二番